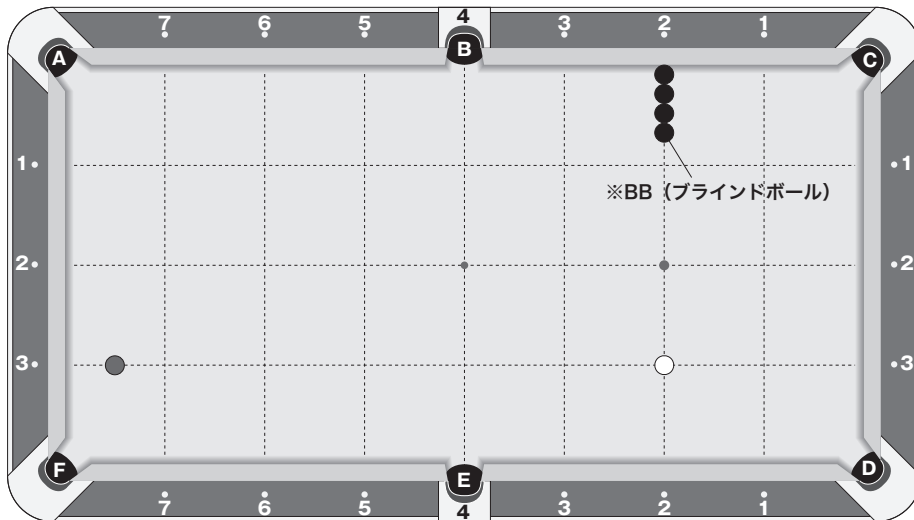


課題7 セーフティ

的球に直接当てられない状態を作る

スクラッチ NG



●手球の位置 長クッション：2 ポイント 短クッション：3 ポイント

●**的球の位置** 長クッション：7.5 ポイント 短クッション：3 ポイント

● **BB の位置** 上長クッション 2 ポイントにタッチさせて的球を 4 個置く

●課題解説 & 練習のポイント

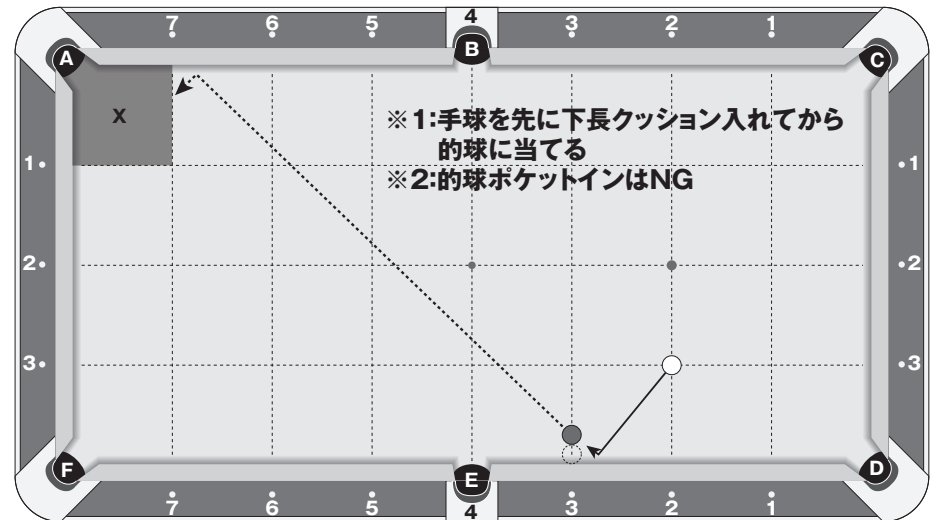
セーフティ課題の中でも難易度が高めの配置と言えるでしょう。試合によく参加される方にとってはこのような場面でのショットの成否が勝敗を分けるポイントになったりすることもありますよね。まずは遠い的球に対して正確に狙った厚みにショットできる技術、そして手球、的球のコースとスピードのイメージ、さらにはテーブルコンディションを読む感覚の鋭さ、さらに言えばミスをおそれない勇気といった多くの要素が要求される課題配置です。以上の事を踏まえ、形としては成功した場合でも本当の意味での成功だったのか、あるいは失敗した場合、上記にあるどの部分でのミスが影響したのかをしっかりと分析して成功確率を上げるようにしておきましょう。

[illegible]

課題 8 的球のコントロール

クッションを使つて的球に当てる

X エリアにポジション



●手球の位置 長クッション：2 ポイント 短クッション：3 ポイント

●**的球の位置** 長クッション：3ポイント 短クッション：長クッションから球1個分浮き

●課題解説 & 練習のポイント

この課題はクッションからのセーフティを想定して作成した配置です。一つ前の課題での解説した要素のほとんどが含まれていて、かなり難易度が高く、10回のトライの内、前半の1～3回目までは失敗しても当然と言えます。そのミスを踏まえて前の課題の解説にもあるようにどの部分でのミスが影響したのかをしっかりと分析して成功確率を上げるようにしましょう。付け加えるならば、同じ課題配置を他のテーブルでも試してみてください。それにより、テーブルコンディションを早く掴む訓練にもなります。S級課題はアマチュア最上位クラスの皆様に向けて、さらなる上達や目標とするタイトルの獲得の一助となる事を願って作成しております。是非とも課題練習はもちろん、実際の検定や試合に活かせるように取り組んでみてください。

[illegible]